

令和元年度公益財団法人山崎こども教育振興財団事業報告

1 研修・育成事業

◆山崎サイエンス・スクール開催事業

目的 子どもの視点で日常生活の科学的事象をとらえ、「不思議」から「発見、感動」へと変化する理科の楽しさを実感させることで好奇心や思考力、洞察力が育つことを目指す。

内容 年間を通して理科に関する「実験」「体験」「観察」等を行い、講師には各分野に精通した先生を招聘する。本年度から、スクール終了後に優秀な受講生を表彰した。

(1) 参加者 市内小学5、6年生 35人

(2) 参加費 1人 2,000円

(3) 募集方法 対象となる市内小学5、6年生に募集チラシを配布し公募した。

(4) スクールの内容

① 第1回 令和元年6月16日(日) カタショー・ワンラボ

出席 30人

〈内容〉 開講式

I 静岡STEMアカデミー事業の説明と風船ロケットの作製

講師 熊野 善介 先生(静岡大学教育学部教授)

II 海水の成分と応用

講師 中山 隆雄 先生(元東海大学教授)

② 第2回 令和元年7月6日(土) カタショー・ワンラボ

出席 29人

〈内容〉 自由研究例紹介講座

I 身近なもので調べてみよう

講師 大石 尚夫 先生(元高校教員)

II 自由研究に挑戦しよう

講師 山下 浩美 先生(元小学校教員)

③ 第3回 令和元年8月2日(金) 静岡大学教育学部ほか

出席 32人

〈内容〉 I 自然界にあるさまざまな形の科学

講師 熊野 善介 先生(静岡大学教育学部教授)

II アンブレラ(雨傘)ラジオを作る

講師 郡司 賀透 先生(静岡大学教育学部准教授)

III 施設見学 ふじのくに地球環境史ミュージアム

④ 第4回 令和元年8月9日(金) 榛原高校

出席 25人

〈内容〉 I 榛高生と一緒に学ぼう 繊維と染色の科学

講師 村松 岳詩 先生(榛原高校)

講師 赤堀 加奈 先生(榛原高校)

II 風力発電について

〃静岡STEMアカデミー事業〃

- ⑤ 第5回 令和元年8月20日(火) 静岡大学工学部ほか
出席 24人
〈内容〉 I “戻り車”を作って遊ぼう
講師 立岡 浩一 先生(静岡大学工学部教授)
II 三色に光る万華鏡の工作
講師 杉田 篤史 先生(静岡大学工学部准教授)
III 施設見学 浜松科学館
- ⑥ 第6回 令和元年9月16日(月) カタショー・ワンラボ
出席 18人
〈内容〉 I レーザー光線を利用して光の反射を調べよう
II 動物の防衛本能を考えよう
〃静岡STEMアカデミー事業〃
- ⑦ 第7回 令和元年10月14日(月) カタショー・ワンラボ
出席 25人
〈内容〉 I SDGsのためのイノベーション
講師 福代 孝良 先生(東京大学特任准教授)
II レーザーとセンサーを使って犯人をさがそう
〃静岡STEMアカデミー事業〃
- ⑧ 第8回 令和元年11月9日(土) カタショー・ワンラボ
出席 18人
〈内容〉 I 電気が流れるもの
伊故海 正道 先生(元小中学校教員)
II 効率の高い風力発電をデザインしよう
〃静岡STEMアカデミー事業〃
- ⑨ 第9回 令和元年12月14日(土) カタショー・ワンラボ
出席 24人
〈内容〉 I 温かさを科学する
講師 寺田 光宏 先生(岐阜聖徳学園大学教授)
II マイクロビットと様々なセンサーを使い研究に役立てよう
〃静岡STEMアカデミー事業〃

閉講式

- (5) 表彰 12月2日、レポートの審査を行い、優秀賞1名、努力賞6名を決定した。
- (6) 効果 保護者へのアンケートでは、「参加させてよかった」など、肯定的な意見がほとんどであった。また、受講生のレポートからもスクールで学んだことで、理科への関心が深まったことが伺えた。

◆自由研究相談会

目的 相談者に、理科自由研究のテーマのヒントを与えたり、研究方法のアドバイスをし、理科について学ぼうとする児童を支援する。将来的には、県レベルの賞を受賞できる児童の育成を目指す。

内容 夏休み期間中の4日間、講師2名を配置し相談会を行った。

- (1) 実施日 7月28日、8月4日、11日、18日
- (2) 参加者 4日間の延べ人数 小学生27人、中学生1人

2 顕彰事業

◆ 山崎こども教育賞表彰事業

(1) 趣旨

思いやりある行動や他の模範となる活動を行った児童生徒を表彰し、心豊かでこころざしを持った次世代を担う児童生徒の育成に資することを目的とする。

(2) 表彰対象者及び表彰理由

思いやりある行動や児童会（生徒会）活動などで模範となる活動を行った児童（小学6年生）及び生徒（中学3年生）・・・26個人

(3) 表彰式 新型コロナウイルス感染予防のため中止となり、学校経由で伝達

(4) 記念品 図書カード（小学生3,000円分、中学生5,000円分）

※サイエンス・スクール優秀賞（1名）の表彰も併せて行った。

3 助成・支援事業

◆自然科学教育図書費等助成

(1) 概要 児童生徒の科学する「心の芽（探究心）」を育てるため、市内の小中学校等に対し、自然科学に関する図書及び理科教材費を助成する。

(2) 対象 牧之原市立小中学校及び牧之原市菊川市学校組合立小中学校

(3) 助成額

単位：円

学校名等	児童生徒数 (人)	均等割	児童 生徒数割	助成額	備考
相良小	524	50,000	156,000	206,000	
菅山小	152	50,000	45,000	95,000	
萩間小	137	50,000	42,000	92,000	
地頭方小	205	50,000	63,000	113,000	
牧之原小	176	50,000	54,000	104,000	
川崎小	432	50,000	129,000	179,000	
細江小	432	50,000	129,000	179,000	

勝間田小	142	50,000	42,000	92,000	
坂部小	111	50,000	33,000	83,000	
相良中	406	50,000	123,000	173,000	
牧之原中	57	50,000	18,000	68,000	
榛原中	562	50,000	168,000	218,000	
合計	3,336	600,000	1,002,000	1,602,000	振込手数料を除く

(4)内訳

学校名等	図書費	教材費	その他	助成額	備考(図書冊数)
相良小	123,030	82,970		206,000	58冊
菅山小	54,500	40,500		95,000	44冊
萩間小	68,750	23,250		92,000	28冊
地頭方小	60,870	52,130		113,000	37冊
牧之原小	54,000	50,000		104,000	20冊
川崎小	89,500	89,500		179,000	66冊
細江小	90,425	88,575		179,000	49冊
勝間田小	46,762	45,238		92,000	18冊
坂部小	43,270	39,730		83,000	19冊
相良中	106,615	66,385		173,000	42冊
牧之原中	38,980	29,020		68,000	16冊
榛原中	134,353	83,647		218,000	39冊
合計	911,055	690,945		1,602,000	振込手数料を除く

◆ドリーム教育講演会講師料補助事業

- (1) 概要 各小中学校が児童生徒を対象に、夢に向かって努力すること、こころざしを持つことや道徳、自然科学に関する講演会等を開催する場合、1校あたり15万円を上限に講師料の補助を行う。
- (2) 対象 児童生徒を対象とする。(児童生徒と保護者で聴講することや複数の学校が合同で開催することも可能。)
- (3) 助成額 令和元年度の実績なし